

施策名	目 標 5－5 自然とのふれあいの推進										担当部局名	自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課 総務課国民公園室 野生生物課			
施策の概要	豊かな自然とのふれあいや休養などの国民のニーズに応えるため、持続可能な自然資源の保全を図りつつ、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供やふれあい活動をサポートする人材の育成を行う。										政策評価実施予定時期	令和 7年 8月	政策評価実施時期		
達成すべき目標	安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しつつ、ふれあい活動をサポートする人材を育成することでエコツーリズムを推進し、自然とのふれあいの質の向上を図る。また、貴重な自然資源である温泉の保護と適正な利用を図る。										政策体系上の位置付け	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進			
施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	第六次環境基本計画（令和6年5月21日閣議決定）、生物多様性国家戦略2023-2030、新時代のインバウンド拡大アクションプラン、骨太の方針2023、新資本主義戦略フォローアップ、観光立国推進基本計画														
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠			達成
		基準年度		目標年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
1 自然公園の年間利用者数の推移(千人)※暦年	－	－	前年度実績値比1%増	－	559,888	547,888	689,655	－	－	－	－	自然とのふれあいの機会を増加させるため、自然公園の年間利用者数を評価する。			
					542,463	682,827	集計中	－	－	－	－				
2 エコツーリズム推進法に基づく全体構想の認定数(括弧内は累計)	－	H20年度	(47)	R10年度	－	－	22	27	32	37	－	全体構想の認定数が増加することは、エコツーリズムの推進に直接的に結びつき、自然と人の共生について国民の意識の向上を図ることに繋がる。			
					1(19)	3(22)	4(26)	－	－	－	－				
3 温泉の自噴湧出量(L/分)	651,265	S45年度	前年度の水準を維持	－	680,000	671,354	672,510	－	－	－	－	温泉資源が保護され、適正に利用されているかは自然の産物である「温泉の自噴湧出量」を把握することで定量的に把握することが可能となるため。			
					671,354	672,510	集計中	－	－	－	－				
4 国民公園等年間利用者数(千人)	－	－	前年度実績値比1%増	－	3,936	4,883	9,520	12,727	－	－	－	旧皇室園地として日本の歴史・伝統に触れつつ、緑や庭園を手軽に楽しめる場を提供するため、国民公園等の年間利用者数を評価する。			
					4,834	9,426	12,601	－	－	－	－				
5 国指定鳥獣保護区における保全事業実施計画数	－	－	12	R6年度	12	12	12	12	12	12	12	自然環境の保全や消失・変容した自然生態系の再生を図るため、国指定鳥獣保護区における保全事業実施計画数を評価する。			
					12	12	12	－	－	－	－				
6 国立公園訪日外国人利用者数	－	－	667万人	R7年度	－	－	－	－	667万人	－	－	・政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき実施している「国立公園満喫プロジェクト」において、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ国内外利用者をコロナ影響前の水準に回復することを新たな目標として設定しているもの。			
					－	－	585万人	－	－	－	－				

